

青島大学での留学生活について

国際文化学部国際文化学科

13011001 阿武美波

【寮生活について】

青島大学の留学生専用の寮は2つあります。敏行楼と新楼です。敏行楼は今年建てかえたばかりでとてもきれいです。新楼は少し古い建物ですが、寮費が安く住心地もいいです。基本的に交換留学生は新楼に入居します。原則的に留学生寮には門限がなく、夕方の6時以降は自分の部屋のカードキーを使って寮に入ることができます。カードキーがないと夜は留学生寮に入ることができないので不審者が入ってくる心配がなく安心して過ごせます。新楼には北側の部屋と南側の部屋があり、南側の部屋のほうが北側の部屋より少し暖かく、洗濯物も乾きやすいことから寮費が100元くらい高くなっています。



私の部屋は南側の部屋なので、寒い日でも比較的過ごしやすいです。左の写真は部屋の様子です。部屋の大きさは大きすぎず、小さすぎずという感じです。留学生の部屋はそれぞれ個性があり、机の配置からベッドの有無まで違います。また、部屋のなかに土足で入れるか玄関で靴を脱ぐのかも違ってきます。ちなみに私の部屋はルームメイトと話し合った結果、土足禁止になりました。部屋の中にはトイレとシャワーが一緒になっているバスルーム・また室内バルコニーがあります。バスルームではシャワーとトイレとの間にカーテンがないので、気になる人は自分で近くのスーパーでシャワーカーテンを買って取り付けています。室内バルコニーでは基本的には選択した衣服を干せるようになっています。また、すこし広めなのでなかなか使わない荷物などをおくこともできます。部屋の中には、テレビもあり、いつでも中国の番組やドラマを楽しめます。



私が住んでいる新楼には4階と2階に共同キッチンがあり、3階には共同の洗濯機があります。共同キッチンのほうはあまりきれいではないので使いたくないです。自分の衣服を洗濯するときは、まずは1階の管理室のおじさんから洗币という1つ4元のコインを買います。そのコインをもって共同洗濯機のところに行き、コインを入れると洗濯機が使えるようになります。毎回コインを1階まで買いに行くのがめんどくさいので、留学生のみんなはコインを買いだめしています。日常生活でのゴミは、各階の渡り廊下に2個設置されている大きいゴミ箱にいれます。このゴミは毎日回収されます。また、毎日従業員が寮の渡り廊下などを掃除してくれるので、寮の中は比較きれいに保たれています。



部屋の家具などが壊れた場合は一階のロビーに紙がおいてあるので、そこに書きにいきます。ただ、「〇〇が壊れた」とだけ書くと管理人のおじさんがなかなか見てくれず修理がくるのが遅くなるということなので、何が壊れているかはもちろんのこと、壊れたモノの状態・その影響などを長めに書くと次の日に修理の人が部屋にきて直してくれます。修理の人は部屋の人との在宅に関係なく訪ねてきます。部屋人がいない場合は勝手に鍵を開けて入ってきます。学生の大事なものが紛失しないように、修理するときは、寮の従業員が立ち会っているらしいのですが、もしもの場合を考えて留学生は机の引き出しに鍵をかけて、その中に貴重品をいれて保管しています。

最近、もうひとつ留学生寮の敏行寮の一階にセブンイレブンができました。セブンイレブンができてから多くの生徒が朝学校に登校するときや、ご飯の買い出しなどに利用します。店内と外に机とイスが置いてあり食事をすることができるので、お昼ご飯はそこで食べるという学生もいます。24時間空いているので、週末は留学生たちとそこでお酒を飲んで会話を楽しんだりもします。セブンはすごく便利なのですが、そこで買う商品は他の大学の売店よりも少し高めなのと、コーヒーがあまりおいしくないというのが有名です。

